

(様式⑦)-1 小学校・中学校)			確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】					堺市立深井西小学校 校長 清野 寛之			
中学校区におけるめざす子ども像 自らを律し、自ら学び続ける子											
令和7年度 学校教育目標「明るい笑顔と元気なあいさつのあふれる素敵な学校」 めざす児童像「輝く子」 ○人を思いやる子 ○協力する子 ○ルールを守る子 ＜重点目標＞ 1 毎日楽しく通学し、学ぶことができる学校づくりのため、チーム力を生かした職員間の共通理解・意思統一・情報の共有化・対応の統一を実現する。地域や家庭、関係諸機関とともに連携しながら課題解決・健全育成を進める。 2 児童の豊かな心と健やかな体を育成するために、計画的・継続的な取組を推進する。 3 児童の総合的な学力向上のため、主体的・対話的で深い学びの具体化をめざす。職員はそのための指導力を向上させ「誰もが安心して楽しく学びあえる」授業・学級の実現を図る。(基礎・基本の定着を確実に行之、特に学力低位層へ継続的な指導を行う)											
確かな学びの現状 【知識及び技能】国語科における「読解力」及び「記述力」については若干改善の兆しがあるものの、「適切に内容を把握」することや「自らの考えを論理的に記述」することに課題がみられる。また算数科においては80点以上の上位層が8.9%と少数であり、算数科を苦手としている児童や算数科の授業に興味関心を持っていない児童が多数存在する。また、既習事項の定着に課題があるため、「わかっていないところに新しいことを学ぶという負のスパイラル」が発生していると考えられる。 【思考力・判断力・表現力等】全学年実施の研究授業や公開授業、さらに教職員のグループ研修により、堺版授業スタンダードを基礎とした授業が展開され、「他者と話し合う活動を通じて自らの考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる」と回答した児童が80%に達している。しかし複数の情報のなかから必要な情報を的確に見つけ出す思考力や、自らの考えをその根拠を明確にしながら、他者に対して論理的に表現する力に課題が存在する。 このような現状を改善していくために、すべての教職員が学びにおける方向性を共有し、以下のような具体的な取り組みを継続的に実践していきたい。					豊かな心・健やかな体の現状 【豊かな心】 ・全クラス参加の朝のあいさつ運動に取り組み、進んであいさつができる児童が増加している。 ・R6年CBTのアンケート調査結果(3年以上平均)では、「自分のことを大切だと思いますか」の項目で、88%と自己肯定感が高い。しかし、「いじめられたり、いじめを見たりしたときに、先生や家族、友達、相談できる所などに相談することができますか」は72%と低く、周りに相談し課題解決する力や仲間づくりの弱さが課題である。 【健やかな体】 ・元氣よく遊び運動する児童を増やすために、各クラスに配給するボールの数や運動用具を増やしたり、運動場にミニバスケットボール用のコートを整備したりするなど、運動場の環境をよりよくしている。その結果、休憩時間に運動場へ出て遊んだり運動したりする児童が増加傾向にある。学校教育アンケート(児童)では、「体育での『深西サーキット』やなわとび、休み時間の外遊びなどいろいろな運動に取り組んだ。」において、肯定的評価が78.2%と、約8割の児童が休み時間に外へ出て遊んだり運動していることが分かる。 ・昨年度の新体力テストの結果より、すべての学年で堺市の平均を上回る種目が増加した。 ・保健委員会の児童を中心とした生活調査を行うことで、清潔で健康的な生活を児童に意識させることができた。 ・夜遅くまで起きている児童が多く、遅刻する児童が増加傾向にあるため、規則正しい生活のリズムの確立が望ましい。朝会や学期目標の設定を通して指導し啓発している。						
大項目 確かな学び	中項目 総合的な学力の向上	研修テーマ 「子どもが主役の探求的な学びへ～伝え合う力を基に～」に向けて	★国語科を中心として「言語力(書くこと・読むこと・話す聞くこと)」を育成する。 ・つきたい力を明確にした授業改善 ・朝の学習・・・水・金曜日 ・研究授業・公開授業・グループ研修	「となりの席の人やクラスで話し合いながら楽しく学習した。」で肯定評価80%	学校教育アンケート 研究授業 公開授業	1月末 6月・10月・11月					
		「堺版授業スタンダード」「ユニバーサルデザイン」を活用し、基礎学力の定着をめざした授業の実施	●UDの知見を活かし、安心して学べる教室環境を整え、全員が楽しくわかる」「できる」授業をめざした実践を行い、学びに向かう力を育成する。 ・「学習規律(10か条)」の徹底により、学ぶ姿勢の確立をめざす。 ・朝の学習(金曜日)・・・読解ワークの実施 ・算数の基礎基本の習熟への取り組み交流	「授業の内容は、よく分かる。」で肯定評価80%	学校教育アンケート 「学習規律(10か条)」 ふりかえり ユニバーサルデザイン チェックシート	1月末 毎学期 毎学期					
		教育ICTを有効に活用した指導法の工夫・改善	・ICT機器(電子黒板・タブレット・デジタル教科書など)を活用したわかりやすい授業の工夫 ・ICT端末の活用頻度を増やす。	「タブレットや大型テレビ(デジタル教科書)などを使って学習するとわかりやすい。」で肯定評価80% 1日に1回程度タブレットを活用した授業を実施	学校教育アンケート 実施報告 実施報告	1月末					
		読書指導の充実による「本を読む生活」の実現	・朝の読書(火・木)や図書の時間の確保、読書手帳の有効な活用により読書活動を推進する。 ・学級文庫を整備する。 ・読書に対する意欲向上につなげるため「読書キング」達成状況を掲示する。・音読指導を継続する。 ・学校司書や図書サポーターとの連携を図る。	「読書キング」の表彰の状況 「読書キング」(読書手帳・読書ノートもふくむ)に取り組んだ。」で肯定評価が80%	「読書キング」表彰 学校教育アンケート	毎学期 1月末					
		自主的な学習習慣の定着(自主学習ノート)	★「家庭学習の手引き」をもとに、家庭と連携しながら、自主的に学習する習慣を定着させる。 ・自主学習ノートの校内掲示 ・自主学習コンテストを開催し、意欲的に自主学習に取り組めるようにする。	全学年(1年生は後期から)・全学級で全員が自主学習ノートに取り組む。 「週1回は、自主学習ノートに取り組んだ。」で肯定評価が80%	提出率 学校教育アンケート	毎月 1月末					
大項目 豊かな心・健やかな体	中項目 豊かな心の育成	生活習慣の定着と、思いやりのある心と態度の育成	●「豊かな心」の育成をすすめる中心的な取組としての「あいさつのできる子ども」の育成 あいさつ運動に取り組む。 ●生活習慣の改善。睡眠時間の確保、朝食を毎日とるように意識づけを行う。	「子どもたちは、すすんであいさつができるように育ってきている。」で肯定評価が80% 生徒指導アンケートの肯定評価80%	学校教育アンケート 学期末の児童アンケート	1月末					
			★学習規律(チャイム着席)、学習習慣、生活習慣等の定着に向けて、すべての根底をなす規範意識を育成する「学校生活のきまり」の徹底 ・ABCG作戦の実施	「学校は社会のきまりやルールを守ることを指導している」の肯定評価が80%	学校教育アンケート	1月末					
			・思いやりの心を持ち、仲間を大切にする子の育成。 ・児童相互が理解を深め、いじめのない学級・学校をつくる。 ・縦割り活動の「深西タイム」の実施 ・児童会主催のクラスマッチの実施	生活アンケートでの早期発見・早期解決 各学期に実施、個別な聞き取りを行う・深西タイムに取り組む。 「学校は、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。」の肯定評価が80%	実践報告 学校教育アンケート	毎学期 1月末					
	中項目 体力の向上	様々な体育的行事や取り組みを通して体力向上を図るとともに、食育、保健指導の充実を図り、健康な生活を送れるようにする	・全クラスで体育の最初の時間に「深西サーキット」を実施し、基礎体力の向上に向けた取り組みをする。 ・全学年で「体育検定」実施し、休み時間に外へ出て運動したりする習慣を身に付けさせる。 ・自分の体のことについて興味・関心を高める。 ・3年生以上で保健の授業で健康な生活を送るにはどうすればよいかを考える。 ・食育、栄養指導、保健指導、健康指導の推進	「体育での『深西サーキット』やなわとび、休み時間の外遊びなどいろいろな運動に取り組んだ。」の肯定評価が80%	授業での振り返りの言語化の確認(体育カード) 学校教育アンケート	実施後					
			・3年生以上で保健の授業で健康な生活を送るにはどうすればよいかを考える。 ・食育、栄養指導、保健指導、健康指導の推進	3～6年生で実施 1～6年生で実施	実施報告 実施報告	年度末 年度末					
大項目 (地域協働)	中項目 信頼される学校	地域組織との連携と地域人材・の活用による開かれた学校づくり	・見守り隊等の地域組織との連携により、児童の安心安全に向けた体制づくりに取り組む。 ・地域人材の活用と連携による教育環境の整備をすすめる。	「学校は、見守り隊などの地域組織と連携や、地域行事への参加などを通して、地域に親しみを持つ児童を育てようとしている。」で肯定評価が80% 地域人材の活用と連携状況	学校教育アンケート 活用・連携状況	1月末					
		積極的な情報発信による、教育活動への理解と協力の獲得	・学校通信・学年通信の活用 ・保護者連絡ツール「tutoru」の活用 ・ホームページの積極的な更新を通じて学校の情報を発信する。	「学校では学校通信やHPなどを通して、保護者や地域に対し、情報発信に努めている。」で肯定評価が80%	学校教育アンケート	1月末					
校長より(年度末)							学校関係者評価者から(年度末)				